

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	でまえ学び塾開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊 典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自分の意志に基づいて、自分に適した手段や方法を選び、生涯を通じて学習を行い、生きがいのある充実した人生を送れるようにする。						
事業の概要	市民や市職員等の講師を集会所等に派遣する。講師料は無料、材料費等は自己負担となる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	29		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	利用者数	人	1,919	2,760	3,000	3,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染拡大前と比較すると利用者は大幅に減少したが、利用者においては希望する講座を受講することで充実した学びを得ることができた。また、講師を務める市民にとっては、自分の学んだ成果を活用する場になっており、生涯学習					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生涯学習講座・大会開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	赤塚智衣		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	生涯学習推進計画に基づき、協働の観点に立ち自立できる地域リーダーの育成を図る。						
事業の概要	“まちづくりリーダー”の育成を目的とし、連続講座を開催する。生涯学習振興大会を開催し、市民が生涯学習にふれる機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	730		741		1,252	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	市民大学延べ参加者数	人	63	109	100	100
	成果	生涯学習振興大会来場者数	人	0	353	350	400
達成度の 評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民大学は、外国人にも住みやすい街づくりを目指す講座（全6回）及び、男性の家事参画を推進する料理教室（全4回）を開催した。生涯学習振興大会は、前年度中止となった講演会のほか、市民の繋がりがづくりを目的とした座談会を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学社融合促進事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	小学校や中学校は、地域（市民全体）が支え地域（市民全体）と共に歩むという意識が醸成される。						
事業の概要	学校・家庭・地域が一体で子どもを育てるため、地域学校協働本部事業を推進する。ボランティアの協力を得て、教員が子どもと向き合う時間確保と地域教育力の向上等を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	165	198	256			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	事業開催回数	回	592	502	500	500
	成果	地域学校協働活動活動サポーター	人	408	400	500	500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和2年度から全ての小中学校で開始した地域学校協働本部事業では、サポーター数は400名程度に増加した。さくら未来塾では、30名以上の学習支サポーターが小中学生の学習支援を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館講座事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	長嶋正浩		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自発的に学習するようになる。						
事業の概要	市民相互の仲間づくりを促進するために、公民館講座を企画し、氏家公民館と喜連川公民館の両館で実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	762		899		1,184	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	活動	講座受講者数	人	1,075	1,690	2,000	
	活動	講座実施後における自主グループ設立数	団体	20	17	14	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ講座を開催した。また、高齢者向けスマホ講座は応募が多数あり、講座回数拡充して行った。自主グループは新型コロナウイルス感染症のため、解散等で活動できない団体が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	青少年センター事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	鈴木真代		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	青少年が様々な体験や交流を通して自分の良さを見つけることにより、青少年を健全に育成する。						
事業の概要	課内に青少年センターを設置し、青少年健全育成事業を行う。運営協議会委員、少年育成サポーター、少年指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	3,233	3,549	4,777			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	青少年センター事業に参加した人数	人	630	876	700	700
	成果	少年育成サポーター数	人	27	22	23	25
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ禍においても少年指導員が体験活動班、ICT研究班、広報啓発班、研修班を編成し、体験活動や研修会の開催、広報紙「夢咲楽～和輪話通信～」の発行、全体活動としてあいさつ巡回活動（小・中・高等学校）を行い、青少年健全育成の推進が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子ども会連合会育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	子ども会の活動が活発な事業を展開することで、市内の小中学生とその保護者が「体験活動」や「研修会」に参加する機会が提供される。						
事業の概要	子ども会活動や研修等に対し補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	359		359		359	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	活動	活動日数	日	19	19	27	27
	成果	会員数	人	2,918	2,708	2,900	2,900
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	さくら市子ども会連合会において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部事業の中止や規模を縮小することとなったが、感染予防対策等を行い可能な範囲で事業を実施したことにより子ども会活動の充実が図られた。補助金交付により、同団体の育成及び青少年の健					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ガールスカウト育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	青少年の健全育成を図る。						
事業の概要	奉仕の精神による青少年健全育成事業や地域活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	108	0	108			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	活動	活動日数	日	38	52	55	55
	成果	会員数	人	5	5	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナの影響により活動が行われなかったため、補助金の交付は行わなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ボーイスカウト育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	青少年の健全育成を図る。						
事業の概要	奉仕の精神による青少年健全育成事業や地域活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	9	0	9			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	活動	活動日数	日	49	57	65	65
	成果	会員数	人	72	68	70	70
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナの影響により活動が行われなかったため、補助金の交付は行わなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら警察署管内少年指導委員会補助事業				事業開始年度	平成17年度	
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	さくら警察署管内少年指導委員会活動を活発化する。						
事業の概要	青少年の非行防止と健全育成を図るための活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	88		88		88	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	活動	活動日数	日	5	8	10	10
	成果	会員数	人	16	16	16	16
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大により感染拡大以前と比べ活動日数は大幅に減少したが、さくら警察署管内少年指導委員会において、可能な範囲で街頭補導や青少年健全育成活動が行われた。補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	リーダースクラブ事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	大金加依		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	高校生及び中学生が地域社会の一員としての自覚を高め、自己啓発や自己実現などの課題の達成をとおして、人間性豊かな青少年の育成を図ることを目的とする。						
事業の概要	子ども会活動への支援、市事業や各種団体事業への参加・協力、小学生との交流会の開催、各種研修会への参加を行い、将来地域で活躍する人材育成を図っている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	66	131	185			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	登録者数	人	70	53	56	60
	活動	活動日数	日	42	50	60	65
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症拡大以前と比べると活動の機会は減少したが、徐々に支援依頼や研修等の活動日数は回復傾向にあった。その中で会長を中心に会議や練習を行い、協力依頼にあわせて定期的・主体的に活動することができた。リーダース活動を通して、人間性豊かな数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育・家庭教育支援事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	03	家庭教育支援の充実				
事業の目的	子育てに対する不安がより解消され、家庭でいきいきとした子育てができる。						
事業の概要	家庭教育を支援するために、家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアを中心に「家庭教育支援チーム」を組織し、家庭教育の重要性を啓発する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	733		427		897	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	家庭教育講座・講習の実施回数	回	11	15	15	15
	成果	家庭教育講座の参加者数	人	801	1,224	1,200	1,200
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	親子応援講座を市内6小学校で、親子学び合い事業（ネット社会の歩き方講習会）を市内7校で、就学前の学習・生活体験を2回実施するなど、計15回の講座や研修を開催した。また、家庭教育の普及啓発を図るために家庭教育関連冊子の発行等を行った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	図書館管理事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	大柿鑑人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	04	読書活動の推進				
事業の目的	市民の読書や調査・研究等の生涯学習活動に活用される。 子どもの読書活動が活発化される。						
事業の概要	平成27年度から指定管理者制度に移行した。施設管理ほか、資料収集、相互貸借、レファレンス業務、おはなし会や各種講座開催等の事業を市と協議の上、実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	105,582	108,854	105,859			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	年間貸出点数（図書、雑誌、AV資料）	点	268,753	291,374	302,400	305,000
	成果	年間講座参加者数	人	1,385	3,026	3,500	4,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	講座参加者数について、新型コロナウイルス感染予防対策を講じることや感染リスクの低い内容により実施したことで、令和3年度と比較し大幅に増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	課外「さくらスクール」事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	05	課外「さくらスクール」による学びの推進				
事業の目的	子ども達の「気力・体力・学力」を総合的に育むため、多くの学びの機会を設け、前向きに努力する意欲あふれる子ども達を育成する。						
事業の概要	課外「さくらスクール」～さくら未来塾～を開設し、学力アップコース（小・中学生）と体験コース（小学生）により子ども達に多くの学びの機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,343	3,321	5,161			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	活動	申込児童・生徒数	人	622	551	600	650
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学力コースにおいては地域の学習サポーターの支援により、参加児童の学力アップや学習意欲の向上を図ることができた。また、体験コースにおいては、児童が様々な体験を行う中で多くの学びの機会を得ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	鈴木真代		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	社会教育委員に社会教育に関する施策に対して意見・提言をいただく。社会教育指導員により、きめ細かい社会教育事業を行うことができるようになる。						
事業の概要	社会教育に関し諸計画を立案するため社会教育委員会議を開催する。社会教育指導員3名を配置する。社会教育委員、社会教育指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	6,635	7,473	7,482			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	社会教育委員会議出席者数	人	24	23	34	34
	成果	社会教育指導員による学級講座延べ参加者数	人	1,299	1,458	1,500	1,500
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	社会教育委員会議において、生涯学習課（公民館、図書館、ミュージアム）とスポーツ振興課の重点事業等について助言等をいただいた。社会教育指導員3名は、家庭教育・青少年教育・高齢者教育の3分野で各種講座等を担当し、社会教育の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館運営事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	長嶋正浩		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	施設の利便性を高め、多くの市民に生涯学習の場を提供する。						
事業の概要	開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：毎月第1、第3月曜日、第3日曜日、年末年始						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	19,492	81,303	35,675			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
		公民館年間のべ利用者数	人	2,661	31,183	45,000	
		施設維持管理上の不具合・トラブル件数	件	0	1	0	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	利用者には新型コロナウイルス感染症対策を行うようお願いし通常利用を再開した。 令和5年1月末にホール空調の故障が発生して利用者に不便を強いてしまった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川公民館運営事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	木村恭子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	利用者の生涯学習意欲の高揚を図る。						
事業の概要	開館時間：9:00～21:30 休館日：第2・第4月曜日、第3日曜日、年末年始 体制：職員1名・シルバー人材センター委託						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	13,092	16,985	13,992			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	利用者数	人	19,159	22,281	23,000	24,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、感染拡大以前と比べ利用者数は大きく減少したが、前年度と比較すると増加している。利用者が安心安全に利用できるよう感染予防対策の徹底に努めた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ゆめ！さくら博開催事業			事業開始年度		平成19年度	
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者		鈴木真代	
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	出店者が学習した成果を発表する場・還元する場、参加者が生涯学習に触れる場・体験できる場、市民同士のネットワークづくりの場として生涯学習の振興を図る。						
事業の概要	市民と行政の協働により実行委員会を組織し、10月（土・日）に公民館や体育館を主な会場として開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	62		2,010		2,525	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	来場者数	人	0	2,382	3,500	4,000
	成果	出店者数	店（団体）	0	81	80	80
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染対策を講じながら実施した。出店スペースを広くとったり、消毒時間を設けながらの実施であったため、来場者数はコロナ前の開催と比較すると少なかったが、学びの成果を発表する場・還元する場を提供することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		